

市町村名	本部町						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	本部町観光振興基本計画策定事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ 市場特性に対応した誘客活動の展開	
担当部課名	企画商工観光課	事業実施年度	平成30年度	令和1年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	本町の観光振興を推進するため、これまでの施策の検証を行うとともに、今後の本町の観光振興の指針となる観光振興基本計画を策定する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計	
	A. 予算現額	5,487	8,525			14,012	
	B. 執行済額	5,184	8,525			13,709	
	うち 交付金充当額	4,147	6,820			10,967	
	執行率(%) (B/A)	94.5%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	97.8%	
執行状況の説明	最終的な執行率は97.8%となり、概ね計画どおり適正に予算を執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	・観光振興基本計画の策定	目標	基礎調査実施	基本計画策定			
		実績	基礎調査実施	基本計画策定			
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	・観光振興基本計画策定	目標	検証完了	計画策定			
		実績	検証完了	計画策定			
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	策定する観光振興計画の中で、主要観光地の入込客数等、観光振興に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。	目標	55%			
	・町内ホテル定員稼働率55%以上	実績	12%			
		目標				
		実績				
状況説明	<p>【R2年度】 ・本町の課題でもある滞在を指標にしたホテル定員稼働率の目標55%以上に対し、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により12%となり、観光客数の減少で大幅に目標が達成できなかった。しかし、観光振興基本計画による一部施策の実施によって今後の観光振興につながる取組が出来た。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
<p>【R2年度】 ・観光入域者数が減少した事により目標となる数値が全て達成できていないが、観光施策で掲げている観光客の受入整備(キャッシュレス・Wi-Fi環境)や自然資源を活用した観光拠点の形成を行うことができたが観光入域者の増加を図るためのプロモーションが課題となる。</p> <p>【 年度】 ・</p>			<p>【R2年度】 ・感染予防対策を万全に行い安全・安心を優先し、本町の最大の観光拠点施設である海洋博公園と連携を図りながらプロモーションを実施し集客を図る必要がある。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>			
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)						
<p>【R2年度】 ・メディアや広告、WEB配信等でプロモーションを図り誘客を図りながら、観光振興基本計画による施策・受入体制の強化を行っていく。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>						

市町村名	本部町						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	もとぶピージャー産地確立推進事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア おきなわブランドの確立と生産供給 体制の整備		
担当部課名	農林水産課	事業実施 年度	令和 1年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(6)		
事業内容	ヤギ畜産農家の経営安定化を図るため、生産組合に対して農業用機械(粗飼料管理機)導入の補助を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計	
	A. 予算現額	8,451				8,451	
	B. 執行済額	8,451				8,451	
	うち 交付金充当額	6,760				6,760	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
執行状況の説明	事業は計画どおり執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	農業用機械の導入 (粗飼料管理機一式)	目標	農業用機械 の導入				
		実績	農業用機械 の導入完了				
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	農業用機械(粗飼料管理機一式)の導入完了	目標	農業用機械 の導入完了				
		実績	農業用機械 の導入完了				
		目標					
		実績					

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 目標/発現年度
	粗飼料自給率66%以上	目標	66%				
実績		69%					
	目標						
	実績						

状況説明

【R2年度】
・粗飼料自給率は69%となり目標を上回った。

【 年度】
・

【 年度】
・

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
<p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により安全管理研修が行われなかった。しかし、管理規則を定めることで機械の故障や事故は起こらなかった。 ・農業委員会が行った農地意向調査の情報をもとに農地の斡旋を行った結果、成果目標を上回ることができた。しかし、借用したい農地でも条件等が合わずに借用できないという課題がある。 	<p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、安全管理の研修などへの参加を呼びかける必要がある。 ・借用したい農地があった場合でも、接道がとれていないことや農地が小さく利用できないことがあるため、農地を集積・集約化する必要がある。

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R2年度】

- ・安全管理の研修等で教わったことを組合員全体で共有し、機械の安全管理徹底に努める。
- ・人・農地プランの実質化を行い、農地の集積・集約化を図る。

市町村名	本部町						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	防災施設機能強化整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制 の強化	
担当部課名	総務課	事業実施 年度	平成 29	令和 1	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	防災力の向上を図るため、地震津波発生時に住民及び土地勘のない観光客を迅速に避難させるため、緊急避難路を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中 の予算額 ・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	48,471	16,000	44,402		108,873	
	B. 執行済額	46,662	13,948	44,402		105,012	
	うち 交付金充当額	37,329	11,157	35,521		84,007	
	執行率(%) (B/A)	96.3%	87.2%	100.0%	#DIV/0!	96.5%	
執行状況の説明	H30年度は、整備面積の確定に不測の日数を要したため、用地買収に係る4,800千円を平成31年度に繰り越した。また、用地買収費の圧縮と分筆測量費の入札残により2,052千円の不用額が生じた。最優的な執行率は96.5%となり、概ね計画どおり適正に予算を執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	・緊急避難路の整備	目標	実施設計 用地買収	緊急避難路 整備			
		実績	実施設計 用地買収	緊急避難路 整備			
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	・緊急避難路整備の完了	目標	設計完了 買収完了	整備完了			
		実績	設計完了 買収完了	整備完了			
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)		達成/進捗状況				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果					
	本避難路を活用した避難訓練の実施(2回/年)	目標	2回			
		実績	2回			
	安全・安心に避難できたか(80%以上)を含め、訓練参加者に対するアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目標	80%			
		実績	100%			
	状況説明	【R2年度】 ・地震津波を想定した訓練を、住民や要配慮者施設、事業所等が参加し、令和2年度中に2回実施した。その中で、「高齢者に対しサポートが必要」、「青年も含めた訓練が必要」、「夜間を想定した訓練も必要」などの意見が上がった。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・				
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)		【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R2年度】 ・周辺の住民等は、遠回りした避難が避難路完成に伴い、時間短縮につながった。		【R2年度】 ・避難路の利用者からは、「高齢者に対してサポートが必要」や「青年と一緒に訓練をする必要がある」、「夜間を想定した訓練も必要」などの意見が上がった。				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)						
【R2年度】 ・今後も引き続き災害事項を想定した避難訓練を実施し、利用者の意見を聴取しながら安心安全に避難ができるよう取り組む。						